



夏 季 号

< 発行 >

社団法人 松山市シルバー人材センター
所在地 〒790-0808 愛媛県松山市若草町 8-3
TEL (089)933-7373
FAX (089)933-0131
URL <http://m-silver.sakura.ne.jp>
Eメール matuyamasc@sjc.ne.jp

目 次

- P-1 表紙
絵手紙「ひまわり」
会員 林 和子
- P-2 通常総会
功労者・スローガン表彰
- P-3 通常総会
新旧役員挨拶
- P-4 理事会の動き
- P-5 会員憲章宣言
- P-6 賛助会員紹介
株式会社 大可賀造機
三浦工業株式会社
- P-7 現場訪問記
ー買い物支援ー
- P-8 地域班だより
クロスワードパズル
- P-9 松山ぶらり・ぶら〜り
- P-10 若草会だより
萩・津和野の旅 会員 石崎博隆
代議員会開催
- P-11 会員の広場
自慢の孫紹介
- P-12 こちら事務局
ネーミング募集
義援金報告
おくやみ
編集後記



絵手紙「ひまわり」

これくらいと 思う心が 事故のもと

(社)松山市シルバー人材センター 平成23年度「安全就業スローガン」最優秀作品 (松下晴一さん作)

公益社団法人に向けて 平成23年度 通常総会開催

平成23年度通常総会は、梅雨の晴れ間のもと6月17日（金）に、松山市総合コミュニティセンター「ギャラリーホール」で会員403名が出席し、野志松山市長をはじめ5名の来賓をお迎えし盛大に開催されました。



理事長挨拶

熊野副理事長が開会を宣言、麻生理事長の挨拶につき、功労者表彰及び安全就業スローガン表彰が行われ、野志克仁松山市長、田坂信一市議会議長が祝辞を述べ、来賓の紹介、祝電披露につき、賛助会員紹介の後、功労者を代表して山之内宏作さんが謝辞を述べました。

式典終了後、今治明德学園理事長田中有男先生の講演「念ずれば花ひらく」の後、議長に会員藤村悦雄さんが選任され、「平成22年度事業報告」「平成23年度事業計画(案)」など7議案の審議が行われ、原案どおり満場一致で承認されました。

最後に、改選された新役員の紹介につき、役員を退任された方への花束贈



ハーモニカで「ふるさと」を演奏される田中先生

呈、麻生俊介前理事長の退任の挨拶が述べられたのち、乃万副理事長の閉会挨拶をもって通常総会は盛会裡に終了しました。



総会風景

平成23年度

通常総会議案

- 第1号議案 平成22年度事業報告
- 第2号議案 平成22年度収支決算報告
- 第3号議案 会員憲章の制定
- 第4号議案 公益社団法人への移行決議
- 第5号議案 平成23年度事業計画(案)
- 第6号議案 平成23年度収支予算(案)
- 第7号議案 役員の一部選任

功労者・スローガン表彰

長年にわたりセンター会員として就業され、センター事業の発展に貢献された7名、並びに安全就業スローガン最優秀作品に松下晴一さんの作品「これくらいと 思う心が 事故のもと」が選ばれ、麻生理事長より表彰状と記念品の贈呈がありました。

そして、表彰者を代表し山之内宏作さんが謝辞を述べました。



- 松下晴一さん (スローガン表彰)
- 新谷 盛子さん
- 立川 治徳さん
- 矢野 英輝さん
- 西岡 佳子さん
- 池田 達馬さん
- 山之内宏作さん
- 重松 領さん

新旧役員挨拶

新任



理事長 白石 省三

当センターの三千名を超える会員の皆様方は、地域社会から幅広い理解と協力を賜り、会員自らが社会的役割を担い、信頼される活動を継承することを目指してこの度、「会員憲章」が制定されたこと何っております。

当センターは、昭和六十二年の設立以来、事業に参画された会員並びに歴代役員の方々の弛まぬ努力と事業の発展を願う熱意に支えられ、地域の担い手として着実に事業を拡充し、今年度、設立二十五周年を迎えることとなりました。

私は、当センターの理事長に就任するに当たり、その職責の重大さを改めて認識しております。同時に、これまで築いてこられた事業基盤をもとに、設立二十五周年を新たな出発点とし高齢者の皆様方の更なる生きがいの充実と地域社会の発展を支えるセンター事業を、より一層進展するため、鋭意努力して参る所存でございます。

何卒、倍旧のご支援・ご協力を賜りま

すようお願い申し上げます。



常務理事 遠藤 美武

少子高齢化社会が進展する中でセンターが担う役割はさらに大きくなっており、自立した生活実現に全力を尽くす覚悟です。



監事 高橋 實

センター事業の適正な運営に貢献できるよう頑張りたいと考えています。

退任

私は、平成二〇年度の通常総会で理事長に選任され、三年間の任期をもって退任いたします。

振り返りますと、大変厳しい経済情勢のなかで、政府の事業仕分けによる、シルバー支援補助金の大幅な縮減が行われるとともに、公益法人制度改革により、新たな組織の再編が求められるなど、センターにとっては、激変期であったと思えます。

このような中で、会員並びに、役職員の

皆様方の積極的な活動とご尽力により、

事業の一層の拡充を目指して、第四次中・長期計画の策定に着手をし、本総会において、「会員憲章」を制定するなど、将来に向けて、成長を目指して活動するセンターの礎が出来た事について、改めて厚く御礼申し上げます。

今後は、新理事長のもと、より一層の活動の充実を図られまして当センターが益々発展することを、ご祈念申し上げます。退任のごあいさつとさせていただきます。



常務理事 水口 一

会員役職員の皆様には大変お世話になりました。センターの今後益々の発展をお祈りしています。



監事 宮内 一夫

短期間ではありましたが、貴重な経験をさせていただきました。今後の更なる発展を願っております。



理事 馬淵 エツ子

今後のセンターの事業が発展することをお祈りいたします。

熱・水・環境のベストパートナー

Miura

三浦工業株式会社
 松山市堀江町7番地 〒799-2696
 軟水ライフについて詳しくは、軟水ホームページへ。

ミウラの軟水

<http://www.nansui.jp>

お問い合わせはホームソフナーフリーダイヤルへ。
 オハダニ イイワヨ
0120-082-184
 受付時間:平日 9:00~12:30/13:30~16:30
 これ以外の時間は、留守番電話にて承っております。

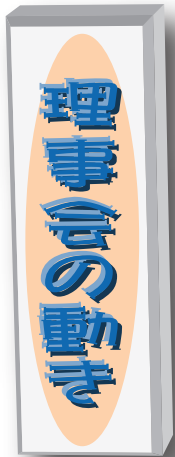
くらしの水を変えたらー！
 やさしい水に変えたらー！

ここちよい暮らしに会える
 ミウラ 軟水ライフ
 軟太郎 美肌っ子



理事会風景

第7回定例理事会報告



5月30日(月)松山市シルバークロスタールにおいて、第1回理事会を開催しました。麻生理事長のもとで行われた最後の理事会として、公益社団法人化に向けてのセンターの実施事業及び体制の整備、設立25周年記念事業の実施、平成23年度通常総会議案など5つの議案が提案され、審議の末いずれも

原案通り承認され、それぞれ、各理事部、各委員、各事務局、各報告がなされました。

議案・案件		内容・要旨
第1号議案 「第4次中・長期計画」策定と公益認定に係る定款変更等の諸条件整備について		<ul style="list-style-type: none"> ○公益社団法人への移行を踏まえ、今後、ニーズが増加すると想定される事業を新規に取組み事業拡充にあたる。 ○公益社団法人に移行する際の理事定数について、個々の理事の役割を明確にすること、並びに機関の再設計に取組むことを前提に、現在の定数「13名以上18名以下」を削減する。
第2号議案 設立25周年記念事業(案)について		○設立25周年を迎えるにあたり、法人化に向けて新たなスタートを切る、その意思を確認する記念事業を実施する。
第3号議案 平成23年度通常総会議案書(案)について		○平成23年度通常総会に付議すべき議案(第1号議案～第7号議案)の議決を行う。
第4号議案 特別会員の承認について		○特別会員2名の選任を行うため定款の定めにより、理事会へ上申する。
第5号議案 安全・適正就業委員会規定(案)の制定に伴う、関係規定等の廃止及び一部改正について		○安全・適正就業委員会規程の制定、関係規程等の廃止、一部改正を行う。
理事部会報告	総務部会報告	<ul style="list-style-type: none"> ○会報第63号の編集について ○表彰選考委員会実施報告について
	事業部会報告	<ul style="list-style-type: none"> ○25周年記念事業について ○安全・適正就業委員会について ○新入会員説明会・研修会について ○営業推進委員会について ○地域懇談会について
	介護部会報告	<ul style="list-style-type: none"> ○平成22年度介護保険事業等運営状況について ○仮称「シルバーふれあいサロン」の実施状況について ○設立25周年記念事業について ○介護職員処遇改善交付金事業について
事務局報告	書面審議結果報告	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回書面審議決議(正会員入会申込者40人承認・賛助会員入会申込者1件承認) ○第2回書面審議決議(正会員入会申込者54人承認・賛助会員入会申込者1件承認)(現役員の一部退任に伴う役員選考の考え方について)(理事監事候補者選考委員会の開催について)
	運転資金借入金状況報告	○平成23年度運転資金借入状況について
	平成23年度通常総会事項について	○日程、役割分担(案)、表彰者選考(案)、会次第について
	東日本大震災義援金について	○義援金受付結果報告(H23.5.27現在)・送金先について
	老人保健健康増進等事業について 医療・介護周辺サービス産業創出調査事業について	

「会員憲章」が

決定しました

会員憲章制定の背景

わが国は、世界に例を見ない速度で少子高齢化が進行し、人口減少社会に入っています。

高齢者は増加するが、逆に生産年齢人口は減少しており、高齢者を取り巻く環境は年々厳しいものになっています。

そうした社会において、当センターは、健康で働く意欲のある高齢者が集い、就労やボランティアなどの社会参加、若い世代との交流などを積極的にを行い、地域社会から親しまれ温もりのあるセンターづくりに取り組んで参りました。

設立25周年を契機に当センターは「自主・自立・共働・互助」の基本理念のもと、地域社会から信頼される就労・活動の徹底を図り、高齢者自身の「社会的役割」をキーワードとし、すべての世代の生きがいある生活の実現を目指すため、会員のあるべき姿を「会員憲章」としてまとめ、ここに宣言します。

宣言

一・わたくしたちは、信頼される活動を継承します。

センターは25年にわたり、皆さんの誠実で確かな仕事によってお客様の信頼と安心を頂いて参りました。

これまで活動されてこられた皆さんの思いを会員一人ひとりが引き継ぎ、一層活動を充実していきます。

一・わたくしたちは、自らの生活基盤の確立と健康づくりに努めます。

会員は、生涯、健康で活動出来るよう、自身の精神的・経済的な自立を目指し、生活環境をよりよいものとしていきます。

一・わたくしたちは、社会貢献活動に積極的に参加します。

住みよい街となるよう、会員の

知恵と経験を愛媛・まつやまで活かすため、ボランティア活動等に積極的に参加します。

一・わたくしたちは、高齢者ケアの一翼を担い助け合います。

より弱い立場にある高齢者の一番の理解者は、元気な高齢者（会員）です。

高齢者のケアに関わる分野は、他のいかなる組織が関わるよりセンターの会員が担うことがふさわしいと思います。

心の温もりを伝えるべく共に助け合う精神で高齢者ケアに関わっていきます。

一・わたくしたちは、生涯学び続けます。

幾つになっても、新しいこと、知らないことを学ぶ心を持ち続けます。

学ぶことでセンターでの活動を拡げられます。

生涯現役の心意気で学び続けます。

前回の会報で会員憲章(案)

について、会員さんからのご意見を聞き、会員憲章を策定し、今年度通常総会で承認されました。

この会員憲章は、設立25周年を契機とし、会員の皆様が如何に在るべきかを、会員自身で考え、これからの活動の礎とすべく検討、協議が進められてきたものです。

入会動機は、さまざまだと思いますが、「会員になったら、皆、同じ志をもって日々活動していきましょう」「会員は、センターの歴史を踏まえ、それぞれの役割を担いましょう」そんな思いが宣言に込められています。

今後は、機会有る度に、この会員憲章を合言葉として唱和していただきたいと思います。皆様のご協力、よろしくお願いたします。

株式会社 大可賀造機



代表取締役

和 氣 成 暢

法人 賛助会員紹介

昭和37年、社名にあるように大可賀の地に私どもの企業「大可賀造機」は産声をあげました。

創業以来「お客様のニーズに即応する」をモットーに、短納期試作品から量産品まで多種多様なニーズに対してオーダーメイドのものづくりを行ってまいりました。

現在は、松山空港の近く南吉田町に本社工場を移転し、機械器具製造業として精密板金加工・レーザー加工・折曲げ加工・溶接加工・粉体焼付塗装・組立等を一貫して行っています。

経営理念の一つにあげている「ものづくりにおいて最先端技術を積極的に導入し続け、常に技術革新を行い、絶大な信頼と満足を受ける企業をめざします」とかかげているように常に最新技術の導入と技術習得を行い、お客様に対し「ものづくりにおいて提案できる企業づく



設計から製品まで一貫生産



入浴キャリー

り」をめざして共にWIN・WINの関係をつくれるよう日々努力しております。松山市シルバー人材センターの会員の方に、弊社の現場作業のお手伝いをいただいております。

会員の方々に来ていただくようになり整理・整頓をはじめ細かいことに気配りいただき、またムードメーカーとして活躍いただいております。

今後も松山市シルバー人材センターの会員の方々のお力をお借りして、弊社にいろいろな良い影響をあたえていただきたいと思っております。

三浦工業株式会社

― 会社概要 ―

ミウラは、この50年にわたって小型貫流ポイラの製造と販売、そしてメンテナンスを手がけてきたポイラメーカーで、水処理装置や食品機械、滅菌器の分野にも事業を拡大し、総合機械メーカーとして着実に実績を積み重ねております。

弊社は創業者である故三浦保が1959（昭和34）年に株式会社化した三浦製作所を前身とし、日本の高度成長と共に順調に業績を伸ばし、現在はグループ全体で国内8社、海外10社の子会社を持ち、そこで働く従業員が4200名という大きな組織に成長しました。これも地元の皆様のご理解とご支援の賜物と深く感謝する次第です。

― 製品の紹介 ―

弊社の製品は一般消費財ではないので、家庭にはほとんど縁がありませんでした。しかし人気タレントを起用したテレビCMのおかげで、地元愛媛はもとより日本全国レベルでの知名度が一気に上がり、皆様にもずいぶん親しみのある地元企業になってきたのではないかと存じます。

弊社の主力商品は小型貫流ポイラです。小型貫流ポイラは、単体の能力がポイ

ラの中では比較的小さいというハンディキャップがある反面、無免許・無検査で使えるというメリットがあります。

また、小型貫流ポイラのポイラ効率(車という燃費のような尺度)も年々向上し、今ではポイラ効率が95%というポイラが活躍しております。とくに小型貫流ポイラ複数台並べても(多缶設置)無免許・無検査で使うことが出来ます。そのうえポイラ効率も良いということで、誰もが知っている超大手の優良企業でも、自動化・省力化の切り札として大いに活躍しております。

小型貫流ポイラ以外にも様々な商品を製造販売しており、特殊なポイラとしては船舶用のポイラ、排熱を回収するポイラ、油を温めて循環するポイラなどがあります。

ポイラ用から派生した水処理装置も、今日では最先端の半導体関連分野から家庭用の軟水器に至るまで製品群が広がりました。なかでも薬品を使わないポイラ水処理システムの開発に注力しており、地球環境の保全に努めております。

食品機械では煮炊き用の蒸気釜、肉や魚を加圧調理する機械、加熱調理した食材を短時間で冷却する装置、レトルト製品用の圧力缶などがあります。

滅菌器は診察や手術に使うピンセットや手術器具、内視鏡などを滅菌して清潔にする機械で、クリニックや病院で使われています。



三浦工業本社ビル（松山市堀江町）

「今後のビジョン」
 弊社では独自の調査で割り出したシェアを55%としており、弊社が業界ナンバーワン位の地位にあることは自他共に認めるところであります。しかし、熱源の多様化や経済成長の衰退が予想される今、ボイラー市場の成長は望めそうにありません。そのため国内では「ベストパートナー戦略」と銘を打ち、水処理装置や熱エネルギー有効活用機器の拡販を中心とした成長戦略を考えております。

一方、海外事業には明るい未来が見えております。現在韓国と台湾、中国、インドネシアそしてカナダとアメリカに工場があり、アジア、北・中・南米圏を中心にお客様が着実に増大してしております。
 （総務部）

高齢者のハッピーのために！ 「買物支援モデル事業始まる」

「交通機関が不便」「身体が不自由」「重い荷物を持ち運べない」などの理由で、買物に不自由している高齢者を支援する「高齢者買物支援モデル事業」が六月一日から本格始動し、当センターのスタッフ十二人が、西へ東へ、精力的に活動している。

同事業は、県の委託事業で、対象となるのは、市内

「買物支援」職場紹介

現場訪問記

在住で買物に困っている高齢者。四月から実態調査を実施するなど準備を進めて来た。

その結果、かなりの対象者がいることが判り、大手スーパー・フジと共同事業をスタートすることに決めた。

六月中旬の一日、あらかじめ、同事業の利用に同意している対象者（顧客）宅を訪問するスタッフに同行、買物支援の実態を見せてもらった。

六千品目を「iPad」で午前九時半、スタッフの田城恵子さん



やっと「iPad」にも慣れました

と藤本怜子さんの二人が、商品配送担当の大成公一さんの車で市北西部女性宅を訪問した。

「こんにちは、松山市シルバー人材

センターです」と呼びかけると、待ちかねていたように玄関が開いた。二人は、携行した最新の電子機器の「iPad」を持ち出し、希望商品を選択してもらい、注文を取る。

フジ・ネットスーパーのホームページの愛称「おまかせ君」の商品アイテムは、約六千品目。一般食料品・飲料・酒・肉・ハム・野菜・果物・魚・惣菜・お菓子・パン・冷凍食品・化粧品・日用雑貨etc.。日常生活に必要なものは、何でも対応できる。

商品のカラー写真と値段が表示しており、画面の拡大、縮小も自由自在。顧客

の要望に応じて、詳しい説明もできる。二人は「お買得品」を勧めるなど、顧客の立場で、商品選びに助言。飲料やインスタント食品など、つごう八点ばかりの注文を受けた。

二軒目の対象者は、市南西部の男性宅。腰を痛めて、歩行が困難で「買物支援は本当にありがたい」という。「自炊もするが、プロの味は出せない」といい、お惣菜など数点を注文した。

二人は、それぞれの顧客に「注文受け付け書」と合計金額などを示し、翌日の配達を約束して引き揚げた。顧客は、独居の高齢者が多く、スタッフを相手に四方山（よもやま）話をしたり、愚痴を聞いてもらうのを楽しみにしている人もいます。定期的に訪問が待たれている事業だ。



おしゃべりに花が咲きます

連絡先（高齢者買物支援モデル事業）

電話 〇八九一九八九一八八四八

今回で5回目の地域懇談会。今年は設立25周年でもあり、昨年より実施の「坂の上の雲クリーンアップ大作戦」とタイアップして地域に根差すシルバー人材センターをめざし、「清掃ボランティア」活動を左記内容で実施します。会員の皆様の積極的な参加をお願いします。

○第1・第3ブロック

(地区) 湯山・八坂・素鷲・道後・桑原
 (期日) 10月22日(土) 10時～
 (内容) 八坂公民館でマンドリン演奏会と会食

○第2ブロック

(地区) 久米・小野
 (期日) 10月16日(日) 9時～11時
 (内容) 日尾八幡神社周辺の清掃

(地区) 石井
 (期日) 7月16日(土) 10時～11時30分
 (内容) 椿神社周辺清掃と懇親会

○第4ブロック

(地区) 久谷・浮穴
 (期日) 11月20日(日) 9時～11時
 (内容) 八坂寺と浄瑠璃寺道路清掃

(地区) 雄郡
 (期日) 10月29日(土) 9時～
 (内容) 雄郡公民館周辺清掃と懇親会(雄郡公民館)

○第5ブロック

(地区) 新玉・味酒
 (期日) 10月中旬 8時～
 (内容) 総合公園周辺清掃

(地区) 清水
 (期日) 8月7日(日) 8時30分～10時30分
 (内容) 松山城(二之丸駐車場)

○第6ブロック

(地区) 余戸・垣生
 (期日) 7月9日(土) 8時～9時30分
 (内容) 垣生今出ヶ浜海岸清掃

地域班だより

○第7ブロック

(地区) 生石・味生
 (期日) 9月11日(日) 9時～12時
 (内容) 空港通り清掃

(地区) 三津浜・高浜
 (期日) 7月9日(土) 8時～9時
 (内容) 梅津寺海岸清掃

○第8ブロック

(地区) 潮見
 (期日) 10月2日(日) 8時～
 (内容) 阿沼美神社清掃

(地区) 久枝
 (期日) 8月7日(日) 8時～
 (内容) 素鷲神社清掃

○第9ブロック

(地区) 堀江
 (期日) 10月2日(日) 8時～
 (内容) 新池周辺清掃

(地区) 和気
 (期日) 9月11日(日) 8時～
 (内容) 太山寺参道付近清掃

○第10ブロック

(地区) 北条
 (期日) 10月2日(日) 8時～
 (内容) 国津比古命神社と鹿島神社

(地区) 中島
 (期日) 7月30日(土) 10時～
 (内容) 姫ヶ浜海岸清掃と懇親会

※予定表につき変更あり

地域班活動二コース

昨年の地域懇談会に於いて、北条地区でも何か懇親会をとの意見がありグランドゴルフ大会を計画、29名が参加しました。

グランドゴルフを通じてお互い知らない人とも交流ができた親睦を図ることができました。参加いただきました皆さん有り難うございました。

第8ブロック長 荻山 和浩



北条地区
グランドゴルフ大会

クロスワード パズル

二重枠に入る人物は誰でしょう？
 葉書に、解答・住所・氏名・電話番号を記入し下記へお送りください。
 正解者の中から、抽選で5名の方に粗品を進呈します。賞品は、9月初旬にお送りし、次回の会報に正解及び当選者のお名前を掲載します。

記

- 1 締切日 平成23年8月19日(金)
 2 送り先 〒790-0808 松山市若草町8-3
 松山市シルバー人材センター
 事務局 吉野

1	2	3	4	5
6		7		
8		9		
		10		11
12	13		14	
15		16		17
18		19		

<横のカギ>

- 江戸時代、大名が通常の住居とした家
- 細く、よりをかけたもの。絹〇〇
- 水分が細かな粒となり空に浮かんでいるもの
- 一時に多量に降る雨
- 天皇の治世
- 動物や罪人などの入れ物、部屋
- 髪の毛をすく道具
- 枝を仏前に供える木の名称
- 真珠の古称
- 夜明けからしばらくの間
- 歯のこと
- 心配や失望したときに出る大きな呼吸

<縦のカギ>

- 介護専門職の国家資格など。介護に関する指導を行う
- 前人〇〇〇
- 上に物がのるように、平に広くひろげる
- うしとら(東北)の方角
- 高知県土佐清水市の名所。四国最南端の陸地が海に突き出たところ
- 地球上の塩分を含んだ水におおわれた部分
- 岸から遠く離れた海上
- 高齢者の頭の毛はこうなっていることが多い
- 今回でなく、この次。〇〇の機会

62号正解 「まさおかしき」
 当選者 田中 徹士 平岡 悦子
 横関 義輝 宮川 旻
 宮脇 稔明



松山ぶらり・ぶらり 「句碑と温泉」



四国で温泉といえば、唯一「道後」だけというのが通り相場だった。しかし、冷泉を加熱して温泉を名乗る所が増えたほか、温泉ブームで、地中深くボーリングして掘り当てた”新温泉”も各地に誕生、いまや松山市内だけでも十指に余る温泉がある時代になった。

そんな温泉分布のうち、市中心部から北へ約八キロの権現町にある「権現温泉」は、新興に比べて歴史が古く、大正時代（一九二二〜二六）に湯治客のために開かれたという。アルカリ性単純泉で「神経痛、慢性消化器疾患、健康増進等に効果的」と、今も地域住民や湯治客、旅行者に根強い人気がある。

この温泉に、昭和九（一九三四）年、類唐派歌人の代表といわれた吉井勇が訪れ、

大伊予の 友国の湯にひたりつつ

ほのぼののとしものぞこそ思へ
と歌を残し、権現温泉の宿泊施設前庭に歌碑となっている。

その前年、妻と離婚した勇は、失意を抱いて放浪に出、高知に二年間隠棲し、瀬戸内海各地を旅した時、同温泉に入湯した。「友国」は権現温泉所在地の小字名。

この温泉からR196を越え、南西へ二キロほど行くと四国霊場五十三番札所の円明寺がある。山門わきの植え込みの中に

鶴飛久や丹頂雲とやぶりつつ、
「東洋城」の句碑がある。松山中（現、松山東高校）で夏目漱石に英語と俳句を教わった松根東洋城は、後に俳誌「洪柿」を創刊主宰した。

さらに西へ約二キロ進むと五十二番札所の太山寺に至る。ここの参道は老杉や常緑樹が茂って、祈りの場への導入路として静かさを湛えており、多くの文学碑が見える。

木の屑と焚いて佛師や秋の雨

柳原極堂

念ずれば花ひらく

坂村真民

道ゆづる人と採みて秋通路

村上杏史

もりもりもりあがる雲へあゆむ

種田山頭火

蒨蒨につゝ、じの名あれ太山寺

正岡子規

春雨や王朝の詩タ今昔

東洋城

などだ。そして本堂へ登る三の門の石段下、高くそびえる老杉の下かげに、松山地方で最も古い句碑といわれる自然石の碑（柳塚）がある。

八九間堂へ雨ふる柳かな

はせお

「はせお」は「松尾芭蕉」の事で、寛保三（一七四三）年、芭蕉翁の五十回忌に「蕉門連中建之」とあり、師を慕う弟子たちが建てたと判る。しかし、原句は「八九間空で…」が正しいといわれ「空へ」は間違い。建立以来二百七十年近く誤り伝えた碑という事になる。

文学碑も風雨に長年さらされて苦むしたり、樹木が覆つたりして読みづら



東洋城



正岡子規



松尾芭蕉



種田山頭火

のもある。句（歌）意や、前後の文言と照らし合わせて判読するか、予習して探訪するしかない。



萩・津和野の旅

味酒 B-2 石崎 博隆

五月十九日、若草会の萩・津和野への一泊二日の旅に出た。

若草会だより

シルバーでの旅行は初めてで、知らない人が多いので不安もあったが、参加してみると仕事や講習会の話なども聞けて良かった。

会員38名を乗せたバスは、しまなみ海道から山陽道へと、ガイドさんのユーモアを交えた話に聞き惚れながらの楽しいバスの旅。

最初に訪れたのは、山口市の雪舟庭園。幼い時、涙で鼠を描いたと言う雪舟ゆかりの寺で、石組の印象的なお庭を見ることができた。

次は萩市に入り、武家屋敷の散策。木戸孝允と高杉晋作の生家などを見て回った。萩焼の窯元ではプロのロクロ引きを見学したが、焼物は高額で手が

出なかつた。

宿泊

は萩のホテル

萩本陣

で、宴会

会では

心地よ

く酔い

楽しか

つた。

皆さ

んカラオケの上手なには驚いた。

翌日、はじめに訪れたのは松陰神社で、4人の総理を育てた松下村塾は質素な佇まいであった。

その後、山陰の小京都と言われる城下町、島根県津和野へ向かった。此処はその昔、石露が生い茂っていたことから、この名前が付いたと言ひ伝えられている。

まず、願いが叶った八割の人がお礼参りに来ると言う太鼓台稻成神社へ参拝。そして、水路に八万匹が泳ぐまち自慢の大きな鯉。家老門跡に松山の明教館に似た、大正八年建築の珍しい木造の町役場などを散策した。

そして帰路のバスにのりこんだ。天気予報は悪かったが、雨にも遭わず最高の旅であった。



松陰神社前で記念撮影

平成23年度 第1回 代議員会開催

事業報告・事業計画

役員改選など行う

平成23年度第1回「若草会代議員会」を6月2日18時から、センター3階「多目的室1」で開催しました。

①平成22年度事業・決算報告、②平成23年度事業計画・予算案、③役員改選をおこない、いずれも原案どおり可決しました。

①②の内容については全会員配布（シルバー総会案内資料に同封）の「若草会からのお知らせ」を参照ください。

新役員紹介

- 会長 村上 博毅
- 副会長 橋本 廣重・持主 桂子
- 会計 田野 節彌
- 顧問 熊野 伸二
- 理事 松尾 幸弘・白石 剛弘
- ” 上本 宝・荻山 和浩
- ” 辻真佐子・竹村 四郎
- ” 新谷 盛子・吉田 美智代
- 監事 楠 宏樹・矢野 光子 (事務局)

記事の訂正

会報58号7頁(昨年4月発行)の「見舞金」三千円は、五千円の誤りで、おわびして訂正します。



明治の薫りを乗せて、古き良き時代が走ります。

坊ちゃん列車

続けます 安全・安心 あしたのために

伊予鉄道株式会社

愛媛県松山市湊町四丁目4番地1

TEL 089-948-3222 <http://www.iyotetsu.co.jp/>

シルバーに入会した

きつかけ

石井D-3 吉田 美智代

近所のシルバー会員さんから「シルバー筆耕教室」の帰りだけど、こんな

習っているのよ！と見せて頂いたのが印刷されたようなきつちりとした教材でした。お習字は、もう何十年も習っていました。が、松山で「筆耕実務講座」があることは知りませんでした。習いたい！とすぐ思ったのがセンターへ入会したきっかけです。



指導者の横山先生は、それはそれは厳しく、仕事に繋がる書だからと申され、甘えはありませんでした。一点二画気持ちは込め、止めハネは当用漢字に忠実で、用紙を汚す事など許されませんでした。

それはセカンドライフとして確かな仕事ができるよう一人でも多く育てたいと思われたからだだと思います。「若いから資格をとりなさい」と背中を押され今の私があります。

現在、賞状コースというところで、月2回先輩会員の中で勉強させて頂いてお

自慢の孫紹介

初めての女の子

番町・八坂A 山崎 洋美



り、たまに誉めて頂くと、この年になりましてでも子供のように嬉しく、家に帰り着くとすぐ筆と墨を出して書いています。

先生が体調を崩され、この4月から「宛名書き教室」をとお話を頂きました。今迄に頂いた貴重な教材を基に、教養としての書と実用硬筆を取り入れ、まずは参加して頂けるようにカリキュラムを組みました。

今の社会は、パソコンの時代ですが、何度か宛名書きのお仕事をさせて頂き、やはり手書きは素晴らしいと自負しています。

先生の灯された「筆耕教室」の灯を沢山の方に知って頂き諸先輩方のご指導や応援を賜りながら、仕事に繋がる書と楽しめる書の教室が、健康で長く続けていけ

五人目にして初めての女「咲良」です。

婆ちゃん嬉しくて会う度に写真を撮り続けています。

音楽が聴こえるリズムに合わせ体全体を揺らせます。

それが又可愛いこと、幸せです。

る事を目標として日常生活にも気を配りつつ生活しています。



宛名書き教室

株式会社 大可賀造機



代表取締役社長
和気 成暢
Wake Narumasa



即応をモットーに 柔軟な発想と匠の技で スピーディなものづくりを…

こちら事務局

平成23年度人事異動

(6月末日現在)

《本部》

配置換

松友省三(業務課長補佐兼業務係長)

《北条支部》

配置換

杉山倫範(北条支部長兼業務係長)

永尾哲康(業務係)

《中島支部・中島福祉事務所》

採用

東原俊介(中島支部長兼中島福祉事務所長)

《松山福祉事務所》

配置換

金子真由美

(居宅サービス係長・サービス提供責任者)

渡部浩子(居宅介護支援係)

採用

大西房子

(居宅サービス係・サービス提供責任者)

《北条福祉事務所》

採用

和田優子(通所介護係 介護員)

退職者

《本部》 山本 昶(県シ運派遣担当を継続採用)

竹内 智子

《中島支部》 山本秀彦(派遣解除)

《松山福祉事務所》 佐野美穂

《北条福祉事務所》

西原順子・池田ちひろ・梁田みずほ

ネーミング募集

(シルバーサロンの愛称)

申込み方法

ハガキかFAX(934-3980)

投函箱(若草本部)(松山福祉)でも受付

いずれもご自由にお書きの上送信下さい

切 9月9日

住 所 松山市萱町1丁目1-7

お問合せ 松山福祉事務所

TEL 99-2888

(担当 大林 勉 各支部・北岐)

東日本大震災 義援金報告

義援金

個人等義援金 245,042円 (平成23年5月27日現在)

センター義援金 50,000円

※義援金は(社)全国シルバー人材センター事業協会を通じて、特に被害が甚大な岩手県・宮城県及び福島県の各シルバー人材センター連合会へ送金され、センター・登録会員へ配布される予定です。ご協力ありがとうございました。引き続き義援金を受け付けておりますのでお願いいたします。

暑中お見舞い

申し上げます

平成二十三年 盛夏

後職員一同

【おくやみ】

この1年間に亡くなられた会員の方々のご逝去を悼み、ご冥福をお祈りいたします。※は退会月

宇都宮玲治	(81歳)	22年4月
亀田 重勝	(75歳)	22年6月
野本 正隆	(65歳)	22年6月
網島 哲	(85歳)	22年7月
三宅 忠義	(74歳)	22年8月
中尾 修	(65歳)	22年8月※
浜本 孝志	(75歳)	22年8月※
水安 年夫	(81歳)	22年9月
南川 則夫	(70歳)	22年10月
灘 幹雄	(61歳)	22年10月
橋本 富仁	(70歳)	22年10月※
山本 忠男	(66歳)	22年11月
岡田 宗頼	(72歳)	22年11月※
三塚三千夫	(62歳)	22年12月
山本 太郎	(72歳)	22年12月
後藤 正和	(78歳)	22年12月
越田 雄三	(65歳)	22年12月
松浦 英二	(71歳)	23年1月
野本 政志	(62歳)	23年1月
加藤 謙治	(75歳)	23年1月
吉本 靖昌	(69歳)	23年1月
渡邊 聡	(57歳)	23年1月
小池 功	(63歳)	23年2月
尺田 隆義	(68歳)	23年2月
秋山 千明	(61歳)	23年3月※
京岡トシコ	(66歳)	23年4月
中越トシコ	(71歳)	23年6月※

編「集」後「記」

◇今年の通常総会も終わった。公益法人化にむけて会員憲章も制定され、これから秋の創立二十五周年行事を経て、移行作業に移る。ただ総会で少し気になることがあった。経過報告や活動方針などについて意見がなく、拍手で承認。総会の議論に深まりがなかったことだ。

◇さて、わが家の軒先には総会の記念品であった風鈴をつるしている。岩手県の名産である南部鉄瓶製であるが、短冊には「復興共助の鐘」と記され、シルバー人材センターの絆を感じることができると。ときおり吹く風にチリン、チリンと涼やかな音を奏でている。

◇風鈴の音が鳴るのは、風力で短冊が動き、それによって風鈴に短冊の付属物が当って鳴るのだが、それぞれが個個バラバラでは心地よい音はでない。連携がいののだ。シルバー人材センターにおいても、しっかり。それぞれの持ち場があり、各々その持ち場の任務を自覚し、より良いものを生み出そうとする気持ちがあつてこそと思う。

◇東日本大震災から四ヶ月が過ぎた。しかし復旧は思うようには進んでいない。政治の混迷が拍車をかけている。本当に大事なことを忘れていくからだ。情けない。風鈴の音色もかなしげである。今一度、私達も設立の原点に立ち返って新たな一歩を踏み出そう。何のために生きているかと自らに問いながら。(M)